

2008年漁業センサス試行調査調査票(案)

(左又は右下)

頁

1	海面漁業調査	漁業経営体調査票 (個人経営体用)	1
2	"	漁業経営体調査票 (会社用)	9
3	"	漁業経営体調査票 (漁業協同組合・漁業生産組合用) . .	17
4	"	漁業経営体調査票 (共同経営用)	23
5	"	漁業管理組織調査票	29
6	"	海面漁業地域調査票	33
7	内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票 (個人経営体用)	37
8	"	内水面漁業経営体調査票 (会社・団体用)	45
9	"	内水面漁業地域調査票	51
10	流通加工調査	魚市場調査票	55
11	"	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票	57



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	漁業集落	客体番号	1：共同経営に参加 2：共同経営に不参加

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

[I] 世帯について

1 漁業にたずさわった人

満15歳以上の世帯員（平成4年6月30日までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業にたずさわった人をもしも記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

①	② 名 前 (書かなくてもかまいません。)	③ 年 齢 (平成19年7月1日現在の満年齢)	④ 男女の別		⑤ 自家漁業の海上作業日数	⑥ 自家漁業の海上作業日数が最も長い漁業の種類	⑦ 左の漁業種類⑥で使った船の大きさ		⑧ 7月1日現在の自家漁業にたずさわった人
			男	女			10トン未満	10トン以上	
		(歳)	いずれかに印		(日)	全国漁業種類番号を記入	いずれかに印		当てはまる人に印
701	経営主		1	2			1	2	1
702	漁業にたずさわった人		1	2			1	2	1
703			1	2			1	2	1
704			1	2			1	2	1
705			1	2			1	2	1
706			1	2			1	2	1
707			1	2			1	2	1
708			1	2			1	2	1

海上作業に従事した日数の数え方

- ・ 365日の範囲でこたえてください。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ 遊漁案内業は含めません。

6ページの漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

2 世帯員すべての人数

7月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

	(人)	
	男	女
すべての世帯員	721	
満14歳以下の世帯員（平成4年7月1日以降に生まれた人）	722	

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
731	1	2

後継者とは、過去1年間に漁業にたずさわった人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。

自家漁業の陸上作業にたずさわった人	過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人		自家漁業以外に家の仕事（家事は除く）にたずさわった人	共同漁業（経営）に出資してたずさわった人	雇われて漁業にたずさわった人	雇われて漁業以外の仕事にたずさわった人	自家漁業とほかの仕事とどちらの日数が長いですか		たずさわった日数が最も長い仕事
	ほかの仕事をやめてから	今年の3月に学校を卒業してから					自家漁業	ほかの仕事	
⑨	⑩		⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		⑯
当てはまる人に○印							いずれかに○印		当てはまる番号を記入
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	
1	1	2	1	1	1	1	1	2	

- 1 : 自家漁業
 2 : 自家漁業以外の家の仕事
 3 : 共同漁業（経営）
 4 : 雇われての漁業
 5 : 雇われての漁業以外の仕事

4 家としての兼業種類

(1) 家として自家漁業とほかの仕事で、過去1年間の年間収入の多い方の番号を○で囲んでください。

	自家漁業	ほかの仕事
741	1	2

(2) 過去1年間に漁業以外に行った仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、民宿又は遊漁船業の過去1年間の延べ利用客数を記入してください。

	自 営 業				雇われ
	水産加工業	民 宿	遊 漁 船 業	その他	
742	1	2	3	4	5

（過去1年間の延べ利用客数を記入してください。）

		万 千 百 十 人			
民 宿	743				
遊 漁 船 業	744				

[Ⅱ] 自家漁業にたずさわった人

1 海上作業に雇った人数

(1) 7月1日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。

(人)

計 (②+⑥)	日 本 人				外 国 人	
	小 計	居 住 地				
		同 一 市町村	そ の 他 の 県 内	県 外		
①	②	③	④	⑤	⑥	
201						

(2) 上記の日本人のうち、満15歳以上で、過去1年間に30日以上海上作業にたずさわった人数を記入してください。

(人)

計		計		同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人	212				
15～19歳	213				
20～24歳	214				
25～29歳	215				
30～34歳	216				
35～39歳	217				
40～44歳	218				
45～49歳	219				
50～54歳	220				
55～59歳	221				
60～64歳	222				
65～69歳	223				
70～74歳	224				
75歳以上	225				

2 陸上作業だけにたずさわった人数

過去1年間に漁業の陸上作業だけにたずさわった人が、最も多かった時期のその人数を記入してください。

(人)

計		231			
家 族	男	232			
	女	233			
雇った人	男	234			
	女	235			

[Ⅲ] 漁船

漁船を使用して操業していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りて使用した場合も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。
(借りて持っている漁船も含めます。)

(1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付船とし、他は無動力漁船としてください。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船	
301	1	2	3	

無動力漁船	302	(隻)
船外機付漁船	303	

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

①	過去 1 年間に使用した動力船					7 月 1 日現在で持っている動力漁船							
	ト ン 数 （小数点以下1位まで記入し、小数点 2位以降は切り捨ててください。）					7月1日現在で 持っていますか		建造した 年	過去 1 年間の 出漁日数			販売金額が最 も多かった漁 業種類	
						持っ てい る	持っ てい ない						
②	③					④		⑤			⑥		
	(トン)	小数点 ↓				い ず れ か に ○ 印		年 号 で記入		(日)		全国漁業種類 番 号 を 記 入	
401						1	2						
402						1	2						
403						1	2						
404						1	2						
405						1	2						
406						1	2						
407						1	2						
408						1	2						
409						1	2						
410						1	2						

年号は省略し、平成元年の場合は「01」と記入します。

出漁日数の数え方

- ・ 365日の範囲でこたえてください。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。

6ページの漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

【Ⅳ】 漁業経営について

1 過去1年間に自家漁業で行った漁業種類

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
- ・2番目に多かったものに「2」
- ・その他に行ったものすべてに「3」 を記入してください。

(漁業種類番号)

【網漁業】

底 び き 網	遠洋・以西底びき網	101	
	沖合底びき網	102	
	小型底びき網	103	
	船びき網	104	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	105	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	106	
	1 そうまきその他	107	
	2 そうまき	108	
	中・小型まき網	109	
刺 網	さけ・ます流し網	110	
	かじき等流し網	111	
	その他の刺網	112	
	さんま棒受網	113	
	大型定置網	114	
	さけ定置網	115	
	小型定置網	116	
	その他の網漁業	117	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	118	
	近海まぐろはえ縄	119	
	沿岸まぐろはえ縄	120	
	その他のはえ縄	121	
釣	遠洋かつお一本釣	122	
	近海かつお一本釣	123	
	沿岸かつお一本釣	124	
	遠洋いか釣	125	
	近海いか釣	126	
	沿岸いか釣	127	
	ひき縄釣	128	
	その他の釣	129	
	小型捕鯨	130	
	潜水器漁業	131	
	採貝・採藻	132	
	その他の漁業	133	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	134	
	ぶり類養殖	135	
	まだい養殖	136	
	ひらめ養殖	137	
	まぐろ類養殖	138	
	その他の魚類養殖	139	
	ほたてがい養殖	140	
	かき類養殖	141	
	その他の貝類養殖	142	
	くるまえび養殖	143	
	ほや類養殖	144	
	その他の水産動物類養殖	145	
	こんぶ類養殖	146	
	わかめ類養殖	147	
	のり類養殖	148	
	その他の海藻類養殖	149	
	真珠養殖	150	
	真珠母貝養殖	151	

2 過去1年間に行った漁業種類の漁業制度

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
 - ・その他に行ったものすべてに「2」
- を記入してください。

大臣許可漁業	501	
知事許可漁業	502	
大臣承認漁業	503	
漁業権漁業	504	
自由漁業	505	
その他	506	

3 海面養殖業 (養殖を行っていない場合は8ページへ進んでください。)

(1) 魚類養殖

7月1日現在の養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。
(m²)

		養殖場の施設面積		使用している面積	
		①		②	
魚類養殖の合計	511				
うち、ぶり類	512				
うち、まだい	513				
うち、ひらめ	514				
陸上水槽	515				
うち、まぐろ類	516				

(2) ほたてがい養殖

貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
(千貝に満たないものは1と記入してください。) (千貝)

	採苗から1年未満のもの	1年以上2年未満	2年以上
521			

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 万 千 百 十 台

台 数	531						
平均面積	532						

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

533							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

ウ 地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

534							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(4) わかめ養殖

ア 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

541							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。

542							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(5) のり類養殖

施設の面積をどちらか1つの単位で記入してください。

ア 平方メートル単位の場合

551							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

（ 養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

↑
どちらか一方に記入してください。

イ 面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(7) 面積を表す面積の単位の呼び名
(例：柵、小間、間など)

(イ) (7)の単位で数えた施設数

552							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(ウ) (7)の単位の1を平方メートルに換算した面積

553							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

561							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

571							
-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

4 過去1年間の漁獲物の販売金額

(1) 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
581	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
582	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

5 過去1年間の漁獲物の出荷先

- ・ 出荷額の最も多かった出荷先に「1」
- ・ その他で当てはまるものすべてに「2」を記入してください。

	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591								

[V] 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類を行った場合、行った漁業種類について記入してください。

全国漁業種類番	地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、電話番号の記入をお願いします。

電話番号：



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅱ（案）
（会社用）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（会社用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県（支庁） 市区町村 漁業地区 漁業集落 客体番号

----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

本社名

本社所在地

都	道	市
府		区
県		町

事業所名

[I] 会社について

- 1 本社・事業所の区分と会社の種類
それぞれ当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

本社・事業所の区分		会社の種類		
本社	事業所	株式	有限	その他
801	1 2	1 2 3		

2 7月1日現在の従業員数

漁業以外の仕事に従事した人も含めたすべての従業員数を記入してください。

〔 本社の場合は、事業所を含めた従業員数ではなく、本社のみの従業員数を記入してください。 〕

(人)

802				
-----	--	--	--	--

[II] 漁業にたずさわった人

1 海上作業にたずさわった人数

- (1) 従業員のうち、7月1日現在の海上作業にたずさわった人数を記入してください。(人)

計 (①+②)		201			
小計 (①)		202			
日本人 居住地	同一市町村	203			
	その他の県内	204			
	県外	205			
外国人 (②)		206			

- (2) 左記の日本人のうち、満15歳以上で、過去1年間に30日以上海上作業にたずさわった人数を記入してください。(人)

		計		うち、同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人	212				
15～19歳	213				
20～24歳	214				
25～29歳	215				
30～34歳	216				
35～39歳	217				
40～44歳	218				
45～49歳	219				
50～54歳	220				
55～59歳	221				
60～64歳	222				
65～69歳	223				
70～74歳	224				
75歳以上	225				

2 陸上作業だけにたずさわった人数

過去1年間に漁業の陸上作業だけにたずさわった人が、最も多かった時期のその人数を記入してください。

(人)

計	231			
男	234			
女	235			

[Ⅲ] 漁船

漁船を使用して操業していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りて使用した場合も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。
(借りて持っている漁船も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付船とし、他は無動力漁船としてください。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

無動力漁船	302	(隻)
船外機付漁船	303	

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力船				7月1日現在で持っている動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)				7月1日現在で持っていますか			
					建造した年			
①	②				③			
	(トン) 小数点				い ず れ か に 印			
					年 号 で 記 入			
					過去1年間の出漁日数			
					販売金額が最も多かった漁業種類			
					全国漁業種類番号を記入			
401					1	2		
402					1	2		
403					1	2		
404					1	2		
405					1	2		
406					1	2		
407					1	2		
408					1	2		
409					1	2		
410					1	2		

年号は省略し、平成元年の場合は「01」と記入します。

出漁日数の数え方

- ・ 365日の範囲でこたえてください。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。

4 ページの漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

【Ⅳ】 漁業経営について

1 過去1年間に行った漁業種類

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
- ・2番目に多かったものに「2」
- ・その他に行ったものすべてに「3」 を記入してください。

(漁業種類番号)

【網漁業】

底 び き 網	遠洋・以西底びき網	101	
	沖合底びき網	102	
	小型底びき網	103	
	船びき網	104	
ま き 網	1 1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	105	
	1 1 そうまき近海 かつお・まぐろ	106	
	1 1 そうまきその他	107	
	2 2 そうまき	108	
	中・小型まき網	109	
刺 網	さけ・ます流し網	110	
	かじき等流し網	111	
	その他の刺網	112	
	さんま棒受網	113	
	大型定置網	114	
	さけ定置網	115	
	小型定置網	116	
	その他の網漁業	117	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	118	
	近海まぐろはえ縄	119	
	沿岸まぐろはえ縄	120	
	その他のはえ縄	121	
釣	遠洋かつお一本釣	122	
	近海かつお一本釣	123	
	沿岸かつお一本釣	124	
	遠洋いか釣	125	
	近海いか釣	126	
	沿岸いか釣	127	
	ひき縄釣	128	
	その他の釣	129	
	小型捕鯨	130	
	潜水器漁業	131	
	採貝・採藻	132	
	その他の漁業	133	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	134	
	ぶり類養殖	135	
	まだい養殖	136	
	ひらめ養殖	137	
	まぐろ類養殖	138	
	その他の魚類養殖	139	
	ほたてがい養殖	140	
	かき類養殖	141	
	その他の貝類養殖	142	
	くるまえび養殖	143	
	ほや類養殖	144	
	その他の水産動物類養殖	145	
	こんぶ類養殖	146	
	わかめ類養殖	147	
	のり類養殖	148	
	その他の海藻類養殖	149	
	真珠養殖	150	
	真珠母貝養殖	151	

2 過去1年間に行った漁業種類の漁業制度

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
 - ・その他に行ったものすべてに「2」
- を記入してください。

大臣許可漁業	501	
知事許可漁業	502	
大臣承認漁業	503	
漁業権漁業	504	
自由漁業	505	
その他	506	

3 海面養殖業 (養殖を行っていない場合は6ページへ進んでください。)

(1) 魚類養殖

7月1日現在の養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。
(m²)

		養殖場の施設面積		使用している面積	
		①		②	
魚類養殖の合計	511				
うち、ぶり類	512				
うち、まだい	513				
うち、ひらめ	514				
陸上水槽	515				
うち、まぐろ類	516				

(2) ほたてがい養殖

貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
(千貝に満たないものは1と記入してください。) (千貝)

	採苗から1年未満 のもの	1年以上2年未満	2年以上
521			

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 台

台 数	531						
平均面積	532						

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

533							
-----	--	--	--	--	--	--	--

ウ 地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。 万 千 百 十 m²

534							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(4) わかめ養殖

ア 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

541							
-----	--	--	--	--	--	--	--

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

542							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(5) のり類養殖

施設の面積をどちらか1つの単位で記入してください。

ア 平方メートル単位の場合

万 千 百 十 m²

551							
-----	--	--	--	--	--	--	--

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

↑
どちらか一方に記入してください。
↓

イ 面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(7) 面積を表す面積の単位の
呼び名
(例：柵、小間、間など)

--

(イ) (7)の単位で数えた施
設数

万 千 百 十

552							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(ウ) (7)の単位の1を平方
メートルに換算した面積

万 千 百 十 m²

553							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

万 千 百 十 台

561							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

万 千 百 十 台

571							
-----	--	--	--	--	--	--	--

4 過去1年間の漁獲物の販売金額

(1) 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
581	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
582	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

5 過去1年間の漁獲物の出荷先

- ・ 出荷額の最も多かった出荷先に「1」
- ・ その他で当てはまるものすべてに「2」を記入してください。

	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591								

[V] 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類を行った場合、行った漁業種類について記入してください。

全国漁業種類番	地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号

[VI] 事業所も含めた会社全体について

Iの1の本社・事業所の区分が「本社」の場合に記入してください。

1 事業所も含めた会社全体の従業員数

万 千 百 十 人

計	803								
常 雇	804								
臨時雇・日雇	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(株式会社については払込済み資本金の金額、合資、合名、有限会社については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。)

	100 万円 未満	100 万 ＼	200 万 ＼	500 万 ＼	1,000 万 ＼	3,000 万 ＼	5,000 万 ＼	1 億 ＼	10 億円 以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

(1) 過去1年間に行った事業が漁業のみの場合は「2」、他の事業も行った場合は「1」に○印を記入してください。

	兼 業	専 業
807	1	2

「専業」の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。

(2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25% 未満	25～	50～	75% 以上
808	1	2	3	4

(3) 過去1年間に漁業以外に行った事業で
・販売金額が最も多かったものに「1」
・その他に行ったものすべてに「2」
を記入してください。

また、所有している事業所の数を主に
営んだ事業別に記入してください。

			行 った 事業	事業 所の 数
製造業	水産加工業	811		
	そ の 他	812		
卸売・小売業、飲食業		813		
サ ー ビ ス 業		814		
その他	冷蔵倉庫業	815		
	そ の 他	816		

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数)

817		
-----	--	--

4 事業別の子会社数

事業別の子会社数を記入してください。

漁 業		821		
製造業	水産加工業	822		
	そ の 他	823		
卸売・小売業、飲食業		824		
サ ー ビ ス 業		825		
その他	冷蔵倉庫業	826		
	そ の 他	827		

調査はここで終わります。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅲ（案）
（漁業協同組合・漁業生産組合用）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅲ（漁業協同組合・漁業生産組合用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の**7月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入**してください。
- 3 調査票への記入は、**黒の鉛筆かシャープペンシルで記入**してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ**右に詰めて記入**してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	漁業集落	客体番号	4：漁業協同組合 5：漁業生産組合

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

代表者氏名

[I] 貴組合が直接行った漁業にたずさわった人

1 海上作業にたずさわった人数

(1) 7月1日現在の海上作業にたずさわった人数を記入してください。
(人)

計 (②+⑥)	日 本 人				外 国 人
	小 計	居 住 地			
		同 一 市町村	その他 の県内	県 外	
①	②	③	④	⑤	⑥
201					

(2) 上記の日本人のうち、満15歳以上で、過去1年間に30日以上海上作業にたずさわった人数を記入してください。

(人)

		計		同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人	212				
15～19歳	213				
20～24歳	214				
25～29歳	215				
30～34歳	216				
35～39歳	217				
40～44歳	218				
45～49歳	219				
50～54歳	220				
55～59歳	221				
60～64歳	222				
65～69歳	223				
70～74歳	224				
75歳以上	225				

2 陸上作業だけにたずさわった人数

過去1年間に漁業の陸上作業だけにたずさわった人が、最も多かった時期のその人数を記入してください。

(人)

計	231			
男	234			
女	235			

[Ⅱ] 漁船

漁船を使用して操業していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りて使用した場合も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。
(借りて持っている漁船も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付船とし、他は無動力漁船としてください。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

	無動力漁船	船外機付漁船
302		
303		

(隻)

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力船				7月1日現在で持っている動力漁船			
	ト ン 数				7月1日現在で持っていますか			
	(小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)				建造した年			
①	②				③			
	(トン) 小数点				い づ れ か に 印			
					年 号 で 記 入			
					過去1年間の出漁日数			
					販売金額が最も多かった漁業種類			
					全国漁業種類番号を記入			
401					1	2		
402					1	2		
403					1	2		
404					1	2		
405					1	2		
406					1	2		
407					1	2		
408					1	2		
409					1	2		
410					1	2		

年号は省略し、平成元年の場合は「01」と記入します。

出漁日数の数え方

- ・ 365日の範囲でこたえてください。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。

4 ページの漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

【Ⅲ】 漁業経営について

1 過去1年間に行った漁業種類

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
- ・2番目に多かったものに「2」
- ・その他に行ったものすべてに「3」 を記入してください。

(漁業種類番号)

【網漁業】

底 び き 網	遠洋・以西底びき網	101	
	沖合底びき網	102	
	小型底びき網	103	
	船びき網	104	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	105	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	106	
	1 そうまきその他	107	
	2 そうまき	108	
	中・小型まき網	109	
刺 網	さけ・ます流し網	110	
	かじき等流し網	111	
	その他の刺網	112	
	さんま棒受網	113	
	大型定置網	114	
	さけ定置網	115	
	小型定置網	116	
	その他の網漁業	117	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	118	
	近海まぐろはえ縄	119	
	沿岸まぐろはえ縄	120	
	その他のはえ縄	121	
釣	遠洋かつお一本釣	122	
	近海かつお一本釣	123	
	沿岸かつお一本釣	124	
	遠洋いか釣	125	
	近海いか釣	126	
	沿岸いか釣	127	
	ひき縄釣	128	
	その他の釣	129	
	小型捕鯨	130	
	潜水器漁業	131	
	採貝・採藻	132	
	その他の漁業	133	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	134	
	ぶり類養殖	135	
	まだい養殖	136	
	ひらめ養殖	137	
	まぐろ類養殖	138	
	その他の魚類養殖	139	
	ほたてがい養殖	140	
	かき類養殖	141	
	その他の貝類養殖	142	
	くるまえび養殖	143	
	ほや類養殖	144	
	その他の水産動物類養殖	145	
	こんぶ類養殖	146	
	わかめ類養殖	147	
	のり類養殖	148	
	その他の海藻類養殖	149	
	真珠養殖	150	
	真珠母貝養殖	151	

2 過去1年間に行った漁業種類の漁業制度

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
 - ・その他に行ったものすべてに「2」
- を記入してください。

大臣許可漁業	501	
知事許可漁業	502	
大臣承認漁業	503	
漁業権漁業	504	
自由漁業	505	
その他	506	

3 海面養殖業 養殖を行っていない場合は6ページへ進んでください。

(1) 魚類養殖

7月1日現在の養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。
(m²)

		養殖場の施設面積				使用している面積			
		①				②			
魚類養殖の合計	511								
うち、ぶり類	512								
うち、まだい	513								
うち、ひらめ	514								
陸上水槽	515					/			
うち、まぐろ類	516								

借りて持っている施設の面積も含めます。

(2) ほたてがい養殖

貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
(千貝に満たないものは1と記入してください。) (千貝)

	採苗から1年未満 のもの	1年以上2年未満	2年以上
521			

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 台

台 数	531						
平均面積	532						

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

533							
-----	--	--	--	--	--	--	--

ウ 地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

534							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(4) わかめ養殖

ア 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

541							
-----	--	--	--	--	--	--	--

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。

542							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(5) のり類養殖

施設の面積をどちらか1つの単位で記入してください。

ア 平方メートル単位の場合

551							
-----	--	--	--	--	--	--	--

（ 養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

↑
どちらか一方に記入してください。

イ 面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(7) 面積を表す面積の単位の
呼び名
(例：柵、小間、間など)

--

(イ) (7) の単位で数えた施
設数

552							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(ウ) (7) の単位の1を平方
メートルに換算した面積

553							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

561							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

571							
-----	--	--	--	--	--	--	--

4 過去1年間の漁獲物の販売金額

(1) 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
581	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
582	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

5 過去1年間の漁獲物の出荷先

- ・ 出荷額の最も多かった出荷先に「1」
- ・ その他で当てはまるものすべてに「2」を記入してください。

	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591								

[V] 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類を行った場合、行った漁業種類について記入してください。

全国漁業種類番号	地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅳ（案）
（共同経営用）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅳ（共同経営用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県（支庁） 市区町村 漁業地区 漁業集落 客体番号

----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

市区町村名	漁業地区名	漁業集落名	代表者氏名

[I] 共同経営について

1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

出資額 （万円）	10万円未満	10万円	30万円	50万円	100万円	200万円	500万円	1,000万円	3,000万円以上	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
831	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10

2 出資した人数

現物出資をした人も含めた人数を記入してください。

(人)

832				
-----	--	--	--	--

[II] 共同経営で行った漁業にたずさわった人

1 海上作業にたずさわった人数

(1) 7月1日現在の海上作業にたずさわった人数を記入してください。

(人)

計 (①+②)		201			
小計 (①)		202			
日本人 居住地	同一市町村	203			
	その他の県内	204			
	県外	205			
	外国人 (②)	206			

(2) 左記の日本人のうち、満15歳以上で、過去1年間に30日以上海上作業にたずさわった人数を記入してください。

(人)

計		うち、同一市町村			
		男	女	男	女
計	211				
過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人	212				
15～19歳	213				
20～24歳	214				
25～29歳	215				
30～34歳	216				
35～39歳	217				
40～44歳	218				
45～49歳	219				
50～54歳	220				
55～59歳	221				
60～64歳	222				
65～69歳	223				
70～74歳	224				
75歳以上	225				

2 陸上作業だけにたずさわった人数

過去1年間に漁業の陸上作業だけにたずさわった人が、最も多かった時期のその人数を記入してください。

(人)

計	231			
男	234			
女	235			

[Ⅲ] 漁船

漁船を使用して操業していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りて使用した場合も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。
(借りて持っている漁船も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付船とし、他は無動力漁船としてください。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船	
301	1	2	3	

無動力漁船	302	(隻)
船外機付漁船	303	

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力船				7月1日現在で持っている動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)				7月1日現在で持っていますか			
					持っている		持っていない	
①	②				③		④	
	(トン) 小数点				いずれかに印		年 号	
					○		で記入	
401					1	2		
402					1	2		
403					1	2		
404					1	2		
405					1	2		
406					1	2		
407					1	2		
408					1	2		
409					1	2		
410					1	2		

年号は省略し、平成元年の場合は「01」と記入します。

出漁日数の数え方

- ・ 365日の範囲でこたえてください。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。

4 ページの漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

【Ⅳ】 漁業経営について

1 過去1年間に行った漁業種類

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
- ・2番目に多かったものに「2」
- ・その他に行ったものすべてに「3」 を記入してください。

(漁業種類番号)

【網漁業】

底 び き 網	遠洋・以西底びき網	101	
	沖合底びき網	102	
	小型底びき網	103	
	船びき網	104	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	105	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	106	
	1 そうまきその他	107	
	2 そうまき	108	
	中・小型まき網	109	
刺 網	さけ・ます流し網	110	
	かじき等流し網	111	
	その他の刺網	112	
	さんま棒受網	113	
	大型定置網	114	
	さけ定置網	115	
	小型定置網	116	
	その他の網漁業	117	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	118	
	近海まぐろはえ縄	119	
	沿岸まぐろはえ縄	120	
	その他のはえ縄	121	
釣	遠洋かつお一本釣	122	
	近海かつお一本釣	123	
	沿岸かつお一本釣	124	
	遠洋いか釣	125	
	近海いか釣	126	
	沿岸いか釣	127	
	ひき縄釣	128	
	その他の釣	129	
	小型捕鯨	130	
	潜水器漁業	131	
	採貝・採藻	132	
	その他の漁業	133	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	134	
	ぶり類養殖	135	
	まだい養殖	136	
	ひらめ養殖	137	
	まぐろ類養殖	138	
	その他の魚類養殖	139	
	ほたてがい養殖	140	
	かき類養殖	141	
	その他の貝類養殖	142	
	くるまえび養殖	143	
	ほや類養殖	144	
	その他の水産動物類養殖	145	
	こんぶ類養殖	146	
	わかめ類養殖	147	
	のり類養殖	148	
	その他の海藻類養殖	149	
	真珠養殖	150	
	真珠母貝養殖	151	

2 過去1年間に行った漁業種類の漁業制度

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
 - ・その他に行ったものすべてに「2」
- を記入してください。

大臣許可漁業	501	
知事許可漁業	502	
大臣承認漁業	503	
漁業権漁業	504	
自由漁業	505	
その他	506	

3 海面養殖業

（養殖を行っていない場合は6ページへ進んでください。）

(1) 魚類養殖

7月1日現在の養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。
(m²)

借りて持っている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積				使用している面積			
		①				②			
魚類養殖の合計	511								
うち、ぶり類	512								
うち、まだい	513								
うち、ひらめ	514								
陸上水槽	515								
うち、まぐろ類	516								

(2) ほたてがい養殖

貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
(千貝に満たないものは1と記入してください。) (千貝)

	採苗から1年未満 のもの	1年以上2年未満	2年以上
521			

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入
してください。 万 千 百 十 台

台 数	531						
平均面積	532						

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十 m

533							
-----	--	--	--	--	--	--	--

ウ 地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

534							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(4) わかめ養殖

ア 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

541							
-----	--	--	--	--	--	--	--

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。

542							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(5) のり類養殖

施設の面積をどちらか1つの単位で記入してください。

ア 平方メートル単位の場合

551							
-----	--	--	--	--	--	--	--

（ 養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

↑
どちらか一方に記入してください。

イ 面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(7) 面積を表す面積の単位の
呼び名
(例：柵、小間、間など)

--

(イ) (7)の単位で数えた施
設数

552							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(ウ) (7)の単位の1を平方
メートルに換算した面積

553							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

561							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。(標準かご100つりを1台としてください。)

571							
-----	--	--	--	--	--	--	--

4 過去1年間の漁獲物の販売金額

(1) 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
581	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	100万円未満	100万	300万	500万	800万	1,000万	1,500万	2,000万	5,000万	1億	2億	5億	10億円以上
582	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14

5 過去1年間の漁獲物の出荷先

- ・ 出荷額の最も多かった出荷先に「1」
- ・ その他で当てはまるものすべてに「2」を記入してください。

	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・業者	加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591									

[V] 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類を行った場合、行った漁業種類について記入してください。

全国漁業種類番号	地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
海面漁業調査

漁業管理組織調査票（案）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業管理組織調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の**7月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について**記入してください。
- 3 調査票への記入は、**黒の鉛筆かシャープペンシルで記入**してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ**右に詰めて記入**してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区

都府県
（支庁）

市区町村

客体番号

経営組織コード

漁業協同組合

1:単一組織

2:連合組織

3:下部組織

4:任意組織

市区町村名

管理組織名

[I] 組織の概要

1 漁業管理を行っている魚種と漁業種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

記入の仕方の「漁業管理組織調査魚種コード一覧表」により記入してください。

魚 種 名	魚 種 コー ド	漁 業 種 類										
		底びき網		刺 網	釣	は え 縄	船 び き 網	採 貝 ・ 採 藻	定 置 網	そ の 他 の 漁 業	海 面 養 殖 業	左 記 以 外 の 漁 業
		小 型 底 び き 網	左 記 以 外 の 底 び き 網									
	101	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	102	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	103	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	104	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	105	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

2 11月1日現在の参加漁業経営体

(1) 管理組織に参加している漁業経営体数を記入してください。

(経営体)

111				
-----	--	--	--	--

(2) 管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数を記入してください。

(経営体)

底 び き 網	小 型 底 び き 網	121				
	上 記 以 外 の 底 び き 網	122				
	刺 網	123				
	釣	124				
	は え 縄	125				
	船 び き 網	126				
	採 貝 ・ 採 藻	127				
	定 置 網	128				
	そ の 他 の 漁 業	129				
	海 面 養 殖 業	130				
	上 記 以 外 の 漁 業	131				

(3) 参加漁業経営体がある地区範囲について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	1 市区 町村内	複数の 市区町村	各都道府県 の全域	複数の 都道府県
141	1	2	3	4

[Ⅱ] 漁業管理

1 過去5年間に行った漁業管理の内容

- (1) 漁業資源の管理内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
ただし、試験的に行ったものや、継続性の無いものは除きます。

	資源量の把握	漁獲（収穫）枠の設定	漁業資源の増殖	その他
151	1	2	3	4

- (2) 漁場の保全・管理の取組について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	漁場の保全			漁場の造成	漁場利用の取決め	漁場の監視	植樹活動、魚付き林の造成	その他
	うち、藻場・干潟の維持管理	うち、合成洗剤不使用の取組						
161	1	2	3	4	5	6	7	8

- (3) 漁業管理の具体的な規制内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

		漁期の規制	漁法の規制	漁船隻数の規制	漁船トン数・馬力数の規制	漁具の規制	出漁日数の規制	操業時間の規制	操業人員の規制	漁獲（収穫）サイズの規制	漁獲量（収穫量）の規制	その他
法制度による規制	171	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
自主規制	172	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

2 漁業管理に係る調整について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	組織内の漁業種類間の調整	漁業地区内の他の漁業種類との調整	他の漁業地区・市町村等との調整	遊漁との調整
181	1	2	3	4

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号
の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



総務省承認	
承認期限	平成19年9月28日まで

様式第6号

2008年漁業センサス試行調査
海面漁業調査
海面漁業地域調査票(案)
平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのものであり、それ以外の目的(税金の聴取等)に使用することはありません。

〔記入上の留意事項〕

- 1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、過去1年間で記入する箇所がありますが、過去1年間とは平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日()
氏 名:	午前・午後 時ごろに
電話番号:	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名

〔Ⅰ〕生産条件

1 漁場環境の変化

- (1) 管轄区域における過去5年間の漁業権を放棄した原因について、当てはまる番号すべて○で囲んでください。また、そのうち、主な原因について当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		埋 め 立 て					そ の 他		
		港 湾・ 漁 港 の 建 設	道 路 建 設	宅 地 造 成	工 業 用 地 造 成	そ の 他			
該当するすべてを○で囲みます。	⇒	原 因	121	1	2	3	4	5	6
いずれか一つを○で囲みます。	⇒	主 な 原 因	122	1	2	3	4	5	6

- (2) 管轄区域内における漁業権の放棄面積について、年次別(暦年)に記入してください。

万 千 百 十 (m²)

平 成 14 年	123							
平 成 15 年	124							
平 成 16 年	125							
平 成 17 年	126							
平 成 18 年	127							

2 遊漁の状況

- (1) 過去1年間の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	取 組 あ り	取 組 な し
128	1	2

(2) 取組の具体的な内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	資源保護				資源増殖		環境保全			その他	
	体長規制	禁止区域の設定	採捕時期等の規制	その他	稚魚等の放流	その他	海岸清掃	藻場・干潟の造成・管理	漁場清掃		その他
129	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

具体的に記入してください。

具体的に記入してください。

具体的に記入してください。

具体的に記入してください。

〔Ⅱ〕 活性化の取組

1 都市との交流

(1) 過去1年間に漁業協同組合が実施した交流活動の取組について、当てはまるものをすべて○で囲んでください。また、○を付けたものについて、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体として実施した場合については、それぞれ同じ人数を記入してください。

万 千 百 十 人

該当するすべてを○で囲みます。

漁 業 体 験	130	00	1						
魚 食 普 及 活 動	131	00	1						
その他	132	00	1						

具体的に記入してください。

(2) 漁業協同組合の運営する水産物直販施設数及び1年間の利用者数について記入してください。

	施設・場所数	年 間 利 用 者 数				
		万 千 百 十 人				
水 産 物 直 販 店	133					

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、
ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
内水面漁業調査
内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (支庁)	市区町村	漁業地域	漁業集落	客 番	体 号	湖沼番号

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

[I] 世帯について

1 漁業にたずさわった人

満15歳以上の世帯員（平成4年6月30日までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業にたずさわった人をもしも記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

①	② 名 (書かなくてもかまいません。)	③ 年 齢 (平成19年7月1日現在の満年齢)	④ 男女の別		⑤ 自家湖沼漁業のうち湖上作業日数、内水面養殖業の作業日数	⑥ 自家湖沼漁業にたずさわった人	⑦ 湖沼漁業の陸上作業にたずさわった人
			男	女			
		(歳)	いずれかに印		(日)	当てはまる人に	印
701	経営主		1	2		1	1
702	漁業にたずさわった人		1	2		1	1
703			1	2		1	1
704			1	2		1	1
705			1	2		1	1
706			1	2		1	1
707			1	2		1	1
708			1	2		1	1

作業日数の数え方

海面及び河川の漁業と湖沼漁業の陸上作業は含めません。

365日の範囲でこたえてください。

1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。

1日のうち湖沼作業と養殖業の両方の作業に従事しても1日と数えます。

2 世帯員すべての人数

(1) 7月1日現在のすべての世帯員の人数を記入してください。

(人)

男	721		
女	722		

(2) 上記のうち、満14歳以下の世帯員（平成4年7月1日以降に生まれた人）の人数を記入してください。

(人)

男	723		
女	724		

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
731	1	2

後継者とは、過去1年間に漁業にたずさわった人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。

自家養殖業にたずさわった人	過去1年以内に新たに漁業にたずさわった人	自家漁業以外に家の仕事（家事は除く）にたずさわった人	共同漁業（経営）に出資してたずさわった人	雇われて漁業にたずさわった人	雇われて漁業以外の仕事にたずさわった人	自家漁業とほかの仕事とどちらの日数が長いですか		たずさわった日数が最も長い仕事
						自家漁業	ほかの仕事	
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮
当てはまる人に○印						いずれかに○印		当てはまる番号を記入
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	
1	1	1	1	1	1	1	2	

1：自家漁業
 2：自家漁業以外に家の仕事
 3：共同漁業（経営）
 4：雇われての漁業
 5：雇われての漁業以外の仕事

4 家としての兼業種類

(1) 家として自家漁業とほかの仕事で、過去1年間の年間収入の多い方の番号を○で囲んでください。

	自家漁業	ほかの仕事
741	1	2

(2) 過去1年間に漁業以外に行った仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、民宿を行っている場合は、過去1年間の延べ利用客数を記入してください。

	自営業	雇われ
742	1	2

（過去1年間の延べ利用客数を記入してください。）

民 宿 743

--	--	--	--	--

万 千 百 十 人

内水面養殖業だけを行った経営体は、6ページから記入します。

〔Ⅱ〕湖沼漁業

1 過去1年間の湖上作業に雇った人数を記入してください。(人)

		男	女
計	261		
15～19歳	262		
20～24歳	263		
25～29歳	264		
30～34歳	265		
35～39歳	266		
40～44歳	267		
45～49歳	268		
50～54歳	269		
55～59歳	270		
60～64歳	271		
65～69歳	264		
70～74歳	265		
75歳以上	266		

2 家として、過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。(日)

2	8	1			
---	---	---	--	--	--

(365日の範囲でこたえてください。)

3 過去1年間に湖沼漁業で行った漁業種類
・販売金額が最も多かったものに「1」
・その他に行ったものすべてに「2」
を記入してください

全国漁業種類番号

網漁業	底びき網・船びき網	201	
	刺網	202	
	定置網	203	
	投網	204	
	その他の網漁業	205	
その他の漁業	釣・はえ縄	206	
	採貝・採藻	207	
	籠	208	
	その他の漁業	209	
養殖業	魚類養殖	210	
	その他の養殖	211	

地方選定漁業種類について

過去1年間に地方選定漁業種類のうち、行ったものにすべて○印を記入してください。

全国漁業種類番号	地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号	行ったものに○印
			1
			1
			1
			1
			1

・販売金額が最も多かったものに「1」
・その他に漁獲したものすべてに「2」
を記入してください。

全国魚種番号

地方選定魚種について

過去1年間に地方選定魚種のうち漁獲(養殖の収穫物を含む)したものすべて○印を記入してください。

5 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまるものを一つ○で囲んでください。

6 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船の当てはまるものすべて○で囲んでください。

(3) 使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入して下さい。

(借りて持っている漁船も含めます。)

(隻)

(2) 使用した動力船の合計トン数を記入してください。

(トン)

(小数点以下1位まで記入します。)

小数点

〔Ⅲ〕内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業に雇った人数を記入してください。

		(人)	
		男	女
計	340		
15～19歳	341		
20～24歳	342		
25～29歳	343		
30～34歳	344		
35～39歳	345		
40～44歳	346		
45～49歳	347		
50～54歳	348		
55～59歳	349		
60～64歳	350		
65～69歳	351		
70～74歳	352		
75歳以上	353		

2 過去1年間の収穫物の販売金額で、当てはまるものを一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万	30万	50万	100万	300万	500万	1,000万	2,000万	5,000万	1億以上
360	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

3 養殖種類

過去1年間に行った養殖種類について
・販売金額が最も多かったものに「1」
を記入してください。

また、行った養殖種類別に総施設面積、使用面積を記入してください。

総施設面積

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

使用面積

通常使用している面積
(魚類を放養していない施設は除く。)

(100平方メートル=1アール)

全国養殖種類番号				販売金額 1位に 「1」を 記入	総施設面積 単位:アール(畝)	使用面積 単位:アール(畝)
食用	に じ ま す	4 0 1				
	そ の 他 ま す 類	4 0 2				
	あ ゆ	4 0 3				
	こ い	4 0 4				
	ふ な	4 0 5				
	う な ぎ	4 0 6				
	す っ ぽ ん	4 0 7				
	海水魚種(ひらめ等)	4 0 8				
種苗用	そ の 他	4 0 8				
	ま す 類	4 0 9				
	あ ゆ	4 1 0				
	こ い	4 1 1				
観賞用	そ の 他	4 1 2				
	錦 ぎ ょ	4 1 3				
真	き ん ぎ	4 1 4				
	珠	4 1 5				

4 養殖方法

過去1年間に行った養殖方法別について

・販売金額が最も多かったものに「1」を記入してください。過去1年間に地方選定養殖種類のうち、
また、行った養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入し行ったものにすべて○印を記入してください。

(100平方メートル=1アール)

			販売金額 1位に 「1」を 記入	養殖池数 (網いけす数、 又は養殖池の 区画数) (単位:面)	養殖面積 単位:アール(畝)
池中養殖	止 水 式	4 5 1			
	流 水 式	4 5 2			
	循 環 式	4 5 3			
ため池養殖		4 5 4			
網いけす養殖		4 5 5			
その他養殖		4 5 6			

全国漁業 種類番号	地方選定漁業 種類名	地方選定 漁業 種類番号	行ったものに ○印
			1
			1
			1
			1
			1
			1

調査はここで終わります。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、
氏名と電話番号の記入をお願いします。

氏名:

電話番号:



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
内水面漁業調査
内水面漁業経営体調査票Ⅱ（案）
（会社・団体用）
平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（会社・団体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード	組織区分
都府県 (支庁)	1:会社
市区町村	2:漁業協同組合
漁業地域	3:生産組合
漁業集落	4:共同経営
客番	
体号	
湖沼番号	
市区町村名	
漁業地域名	
湖沼名	

湖沼で漁業を営んでいない経営体は、4ページから記入します。

〔 I 〕湖沼漁業

1 過去1年間の湖上作業にたずさわった人数を記入してください。

2 過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。

(日)

281

(365日の範囲でこたえてください。)

			(人)	
			男	女
年 齢 別	計	261		
	15～19歳	262		
	20～24歳	263		
	25～29歳	264		
	30～34歳	265		
	35～39歳	266		
	40～44歳	267		
	45～49歳	268		
	50～54歳	269		
	55～59歳	270		
	60～64歳	271		
	65～69歳	272		
	70～74歳	273		
	75歳以上	274		

3 過去1年間に湖沼漁業で行った漁業種類
・販売金額が最も多かったものに「1」
・その他に行ったものすべてに「2」
を記入してください

全国漁業種類番号

地方選定漁業種類について

過去1年間に地方選定漁業種類のうち、行ったものにすべて○印を記入してください。

網 漁 業	底びき網・船びき網	270	
	刺網	271	
	定置網	272	
	投網	273	
	その他の網漁業	274	
その 他の 漁 業	釣・はえ縄	275	
	採貝・採藻	276	
	籠類	277	
	その他の漁業	278	
養 殖 業	魚類養殖	279	
	その他の養殖	280	

全 国 漁 業 種 類 番 号	地 方 選 定 漁 業 種 類 名	地 方 選 定 漁 業 種 類 番 号	行 っ た も の に ○ 印
			1
			1
			1
			1
			1

4 過去1年間に漁獲したもの

- ・販売金額が最も多かったものに「1」
 - ・その他に漁獲したものすべてに「2」
- を記入してください。

湖沼養殖の収穫物を
含む

全国魚種番号

魚	こ	い	301	
	ふ	な	302	
	あ	ゆ	303	
	う	ぐい・おいかわ	304	
	わ	かさぎ	305	
	さ	け・ます類	306	
	し	らうお	307	
	う	なぎ	308	
	は	ぜ類	309	
類	そ	の他の魚類	310	
貝類	し	じみ	311	
	そ	の他の貝類	312	
水動物	え	び類	313	
	あ	み類	314	
産類	そ	の他の水産動物類	315	
そ	の	他	316	

地方選定魚種について

過去1年間に地方選定魚種のうち漁獲(養殖の収穫物を含む)したものにすべて○印を記入してください。

全 国 魚 種 番 号	地 方 選 定 魚 種 名	地 方 選 定 番 号	漁 獲 し た も の に ○ 印
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1
			1

5 過去1年間の漁獲物の販売金額で、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販 売 金 額 な し	10 万 円 未 満	10 万 円	30 万 円	50 万 円	100 万 円	300 万 円	500 万 円	1,000 万 円	2,000 万 円	5,000 万 円	1 億 以 上
320	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

6 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当てはまるものをすべて○で囲んでください。

無動力船	330	1
船外機付船	331	1
動力船	332	1

(2) 使用した動力船の合計トン数を記入してください。
(トン)

333		
-----	--	--

(小数点以下1位まで記入します。)

小数点

(3) 使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。

(借りて持っている漁船も含めます。)

(隻)

無動力船	334		
船外機付船	335		
動力船	336		

[Ⅱ]内水面養殖業

1 過去1年間に養殖業にたずさわった人数を記入してください。

(人)

			男			女		
計		330						
年 齢 別	15～19歳	331						
	20～24歳	332						
	25～29歳	333						
	30～34歳	334						
	35～39歳	335						
	40～44歳	336						
	45～49歳	337						
	50～54歳	338						
	55～59歳	339						
	60～64歳	340						
	65～69歳	341						
	70～74歳	342						
	75歳以上	343						

2 過去1年間の収獲物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万	30万	50万	100万	300万	500万	1,000万	2,000万	5,000万	1億以上
360	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

3 養殖種類

過去1年間に行った養殖種類について

・販売金額が最も多かったものに「1」を記入してください。

また、行った養殖種類別に総施設面積、使用面積を記入してください。

総施設面積

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

使用面積

通常使用している面積(魚類を放養していない施設は除く。)

(100平方メートル=1アール)

全国養殖種類番号			販売金額 1位に 「1」を 記入	総施設面積 単位:アール(畝)	使用面積 単位:アール(畝)
食用	に じ ま す	4 0 1			
	そ の 他 ま す 類	4 0 2			
	あ ゆ	4 0 3			
	こ い	4 0 4			
	ふ な	4 0 5			
	う な ぎ	4 0 6			
	す っ ぽ ん	4 0 7			
	海水魚種(ひらめ等)	4 0 8			
	そ の 他	4 0 8			
	ま す 類	4 0 9			
	あ ゆ	4 1 0			
	こ い	4 1 1			
	そ の 他	4 1 2			
	観 賞 用 錦 ご い	4 1 3			
	き ん ぎ よ	4 1 4			
	真 珠	4 1 5			

4 養殖方法

過去1年間に行った養殖方法別について

・販売金額が最も多かったものに「1」を記入してください。

また、行った養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。

(100平方メートル=1アール)

			販売金額 1位に 「1」を 記入	養殖池数 (網いけす数、 又は養殖池の 区画数) (単位:面)	養殖面積 単位:アール(畝)
池中養殖	止 水 式	4 5 1			
	流 水 式	4 5 2			
	循 環 式	4 5 3			
ため池養殖		4 5 4			
網いけす養殖		4 5 5			
その他養殖		4 5 6			

地方選定養殖種類について

過去1年間に地方選定養殖種類のうち、行ったものにすべて○印を記入してください。

全国漁業 種類番号	地方選定漁業 種類名	地方選定漁業 種類番号	行ったものに ○印
			1
			1
			1
			1
			1
			1

調査はここで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、氏名と電話番号の記入をお願いします。

氏名:

電話番号:



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

2008年漁業センサス試行調査
内水面漁業調査
内水面漁業地域調査票（案）
平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」を良く読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成18年 7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (支庁)	市区町村	水系	客 番	体 号

漁協種類コード

- 1:河川
2:湖沼
3:養殖

市区町村名

漁業協同組合名

I 組合員数

7月1日現在の正・准組合員数について記入してください。

(人)

正 組 合 員	101				
准 組 合 員	102				

II 生産条件

1 漁場環境

(1) 7月1日現在の漁協の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	えん てい 堰 堤	うち、 魚道つき	魚礁・魚 巢ブロッ ク	産卵場
111	1	2	3	4

堰堤… 水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入り口に設けられた仕切り。

魚礁・魚巢ブロック… 河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入、あるいは設置された水産動植物の生息場。

産卵場… 水産動植物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水性植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置及び堆積物の除去等を行っている区画。

(2) 過去1年間の漁場環境改善への取組について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(過去1年間)

	種 苗 生 産 ・ 放 流 の 取 組	中 間 育 成 の 取 組	保 護 水 面 の 管 理	産 卵 場 の 造 成 管 理	魚 道 の 管 理	魚 付 き 林 の 造 成	魚 植 付 き 林 の 樹 活 成 以 外 の 動	河 川 ・ 湖 沼 の 清 掃 活 動
141	1	2	3	4	5	6	7	8

魚付き林… 水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところや繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定された魚付き林は除く。

植樹活動… 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいう。

(3) 生産した種苗の種類について、当てはまるものをすべて○で囲んでください。(過去1年間)

放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

さ け ・ ま す 類	さ河 く性	し　ろ　ぎ　け	151	1
		さ　く　ら　ま　す	152	1
		そ　　　の　　　他	153	1
	陸 封 性	に　じ　ま　す	154	1
		あ　　　ま　　ご	155	1
		や　　　ま　　め	156	1
		い　　　わ　　　な	157	1
		そ　　　の　　　他	158	1
あ　　　　　　　　　　ゆ			159	1
こ　　　　　　　　　　い			160	1
ふ　　　　　　　　　　な			161	1
そ　　　　　　の　　　　　　他			162	1

(4) 放流したものについて、数量を記入してください。(過去1年間)

百 十
万 万 万 尾

さ け ・ ま す 類	さく河性	し ろ ぎ け	1,000尾 単位で 記 入	171				
		さ く ら ま す		172				
		そ の 他		173				
	陸封性	に じ ま す		174				
		あ ま ご		175				
		や ま め		176				
		い わ な		177				
	そ の 他	178						
あ ゆ				179				
こ い			180					
ふ な			181					
う な ぎ			182					
そ の 他 の 魚 類			183					

千 百 十
万 万 万 粒

わ か さ ぎ 卵	10,000粒 単位で 記 入	184				
そ の 他 の 卵		185				

千 百 十 kg

貝 類	kg単位で 記 入	186				
-----	--------------	-----	--	--	--	--

2 遊漁の状況

(1) 遊漁承認証の発行枚数について記入してください。(過去1年間)

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に記入します。

(例) あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚及びこい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入します。

		ま す 類				あ ゆ				こ い・ふな類				わ か さ ぎ				そ の 他				(枚)
		万 千 百 十 枚				万 千 百 十 枚				万 千 百 十 枚				万 千 百 十 枚				万 千 百 十 枚				
遊 漁 承 認 証	年 間	191				192				193				194				195				
	漁 期 間	196				197				198				199				200				
	1 日	201				202				203				204				205				

(2) 遊漁者への啓発・普及活動の取組について
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(過去1年間)

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
206	1	2	3

Ⅲ 活性化の取組

(1) 地域との交流活動の取組について当てはまるものすべてに参加人数を記入してください。
(過去1年間)

漁業体験と魚食普及活動を一体として実施した場合には、それぞれ同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数			
		万 千 百 十 人			
漁 業 体 験	220				
魚 食 普 及 活 動	221				
そ の 他	222				

(2) 水産物直売所施設がある場合、その利用客数について記入してください。(過去1年間)

	利 用 客 数
	万 千 百 十 人
水 産 物 直 売 所	223

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、
ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：

2008年漁業センサス試行調査
流通加工調査
魚市場調査票（案）
平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。
過去1年間という場合は、平成18年1月1日から平成18年12月31日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】 氏 名: 電話番号:	7月 日 () 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入をお願いします。
---	--

〔事務処理欄〕

区分コード					市場種類コード		開設者コード	
大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	市場一連番号	1:中央 2:地方 3:その他	1:地方公共団体 2:漁協 3:漁連	4:会社 5:個人	
市区町村名		漁業地区名		市場名				

ここから記入してください



- 1 水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。

	万	千	百	十	㎡
001					

2 7月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

		業 者			
水産物卸売業者数	002				
水産物買受人数	003				

魚市場内の複数の卸売業者に、同一の買受人が登録している場合は、**魚市場としての買受人数**を記入し、重複させないでください。

3 過去1年間（平成18年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入してください。

		万 千 百 十 トン			
数 量	総 数	004			
	うち活魚	005			
	水 揚 量	006			
	搬 入 量	007			
	うち輸入品	008			

過去1年間に魚市場へ上場された**水産物(活魚、生鮮品、冷凍品、加工品)**の数量をいい、**第1次水揚量(内水面漁業、養殖量による生産品を含む。)**のほか、**他の漁業地域からの搬入量及び輸入品**も含まれます。

		億 千万 百万 十万 万円			
金 額	総 額	009			
	うち活魚	010			
	うち輸入品	011			

前記の数量欄で記入した、**魚市場に上場された数量**に対応する総金額を記入します。
また、活魚及び輸入品の金額をうち数として記入します。

4 7月1日現在で魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください

海 水 処 理 装 置	012	1
砕 氷 ・ 製 氷 機		2
脱臭装置、排ガス処理装置		3
水 産 加 工 機 器		4
そ の 他		5

(海水処理装置)

紫外線殺菌装置、冷却装置等の海水の殺菌や冷却を目的とした装置

(砕氷・製氷機)

氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。

出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含みません。

(脱臭装置、排ガス処理装置)

建物内の空気の清浄を目的とした装置

(水産加工機器)

フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置

(その他)

上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



総務省承認	No.
承認期限	平成19年9月28日まで

様式調第11号

2008年漁業センサス試行調査
流通加工調査

冷凍・冷蔵、水産加工場調査票(案)

平成19年7月1日調査

この調査票は、来年11月に予定している2008年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成19年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。
過去1年間という場合は、平成18年7月1日から平成19年6月30日までの1年間について記入してください。
- 3 調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
- 4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

【統計調査員】	7月 日 () 午前・午後 時ごろに
氏 名:	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
電話番号:	

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県(支庁) 市区町村 漁業地区 事業所一連番号

	-		-		-		-		-		
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	----------------------

事業所の形態コード

- | | |
|--------------|--------------|
| 1:個人 | 4:水産加工組合、加工連 |
| 2:会社 | 5:その他の組合 |
| 3:漁協、漁連、生産組合 | 6:その他 |

市区町村名

漁業地区名

事業所名

I 共通部分（すべての事業所の方がお答えください。）

1 「営んだ事業」は、過去1年間（平成18年7月1日～平成19年6月30日）に営んだ事業について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

「主とする事業」は、営んだ事業のうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		冷凍・冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他	
当てはまるすべてを○で囲みます	営んだ事業	001	1	2	3	4	5	6	7
いずれか一つを○で囲みます	主とする事業	002	1	2	3	4	5	6	7

2 7月1日現在の従業者数を記入してください。

			人			
常 雇	男	003				
	女	004				
うち、外国人		005				
人						
臨時雇・日雇	男	006				
	女	007				
うち、外国人		008				

従業者とは、賃金・給与（現物給与を含む）を支給されている人をいいます。

なお、個人事業主及び無給の家族従事者も含みます。

常雇とは、事業所に常時雇用されている人をいいます。

具体的には、①期間を定めずに雇用されている人、②1か月を超える期間を定めて雇用されている人、③平成19年5月と6月にそれぞれ18日以上雇用されている人をいいます。

臨時雇・日雇とは、常用雇用者以外の雇用者で、①1か月以内の期間を定めて雇用されている人、②日々雇用されている人をいいます。

うち、外国人には、常雇及び臨時雇・日雇のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入します。（常雇及び臨時雇・日雇には外国人を含めた人数を記入します。）

Ⅱ 冷凍・冷蔵工場について

（貴事業所における冷蔵・冷凍施設について、お答えください。）

主機10馬力（7.5kw）以上の冷蔵・冷凍施設を所有し、調査日前1年間（平成18年7月1日～平成19年6月30日）に

- ① 水産物を低温保管した事業所
- ② 水産物の凍結作業を行った事業所

の方は記入してください。

※ 冷蔵倉庫業の他、加工場で所有する自家用冷蔵倉庫で加工原料を保管した場合等も含まれます。

1 冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

営	業	用	009	1
自	家	用		2

営業用とは、事業所が倉庫業法に基づき登録した冷凍・冷蔵庫で寄託品の保管を行う場合をいいます。

営業用の冷凍・冷蔵庫で寄託品のほかにも自営品（自家用の加工原料等）を保管している場合は営業用に分類します。

2 「利用者」は、過去1年間に冷凍・冷蔵庫を利用したすべての利用者について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

「主な利用者」は、入庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

○で囲んでください。

		寄 託 品							自	
		漁業協同組合等	漁業者	水産加工業協同組合等	加工業者	卸売業者	買受	その他	営業品	
当てはまるすべてを○で囲みます	利用者	010	1	2	3	4	5	6	7	8
いずれか一つを○で囲みます	主な利用者	011	1	2	3	4	5	6	7	8

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合、漁業協同組合連合会を含めます。
漁業者には、個人その他、会社等の法人を含めます。
水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。
加工業者には、個人その他、会社等の法人を含めます。

3 冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

		万 千 百 十 トン							万 千 百 十 トン/日				
冷蔵能力	012						凍結能力	013					

（冷蔵能力の換算率） $1\text{m}^3 = 0.4\text{トン}$

Ⅲ 水産加工場について

（貴事業所における水産加工品の製造業務について、お答えください。）

調査日前1年間（平成18年7月1日～平成19年6月30日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方は記入してください。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合は調査の対象になりますので、記入してください。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、油脂、飼料、肥料をはじめ、生鮮水産物や食用加工品を凍結した冷凍水産物のことです。

1 過去1年間に生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

		生産量（kg）						
		014						
				万	千	百	十	一
冷凍水産物	①							
缶・びん詰	②							
ねり製品	かまぼこ類	③						
	魚肉ハム・ソーセージ類	④						
冷凍食品	⑤							
素干し品	⑥							
塩干品	⑦							
煮干し品	⑧							
塩蔵品	⑨							
くん製品	⑩							
節製品	⑪							

		生産量（kg）								
		014								
				万	千	百	十	一		
その他の食用加工品	塩辛類	⑫								
	水産物漬物	⑬								
	水産物つくだ煮類	⑭								
		乾燥・焙焼・揚げ加工品	⑮							
		その他	⑯							
	その他	⑰								
寒天		⑱								
油脂		⑲								
飼肥料		⑳								
焼・味付のり		㉑			千万	百万	十万	万	千	百枚

※ 焼・味付のり
原料の板のりに換算した枚数を百枚単位で記入してください

2 過去1年間に生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号①～㉑から選んで記入してください。

年間販売金額第1位の水産加工品の種類

015

- 3 過去1年間（平成18年7月1日～平成19年6月30日）に販売した水産加工品の総額に該当する金額区分について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

100万円未満	016	1
1 0 0 万 ～		2
5 0 0 万 ～		3
1, 0 0 0 万 ～		4
5, 0 0 0 万 ～		5
1 億 円 ～		6
5 億 ～		7
1 0 億 ～		8

水産加工品以外の製品を販売している事業所の場合には、事業所の総販売金額のうち、**水産加工品のみの販売金額**に該当する区分を○で囲んでください。

製造した水産加工品を**自社の他事業所へ加工原料として提供した場合**には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

- 4 過去1年間の貴事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況についてお答えください。

- （1）原材料に占める国産品の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

原材料に占める国産品の割合	すべて国産品	017	1
	7 0 % ～		2
	5 0 % ～		3
	3 0 % ～		4
	3 0 % 未満		5
	すべて輸入品		6

重量ベースでの割合でお答えください。

- （2）国産原材料を仕入れた事業所の方にお聞きします。

貴事業所では国産原材料を漁業者や漁業協同組合（漁協が開設する市場を含む。）から直接仕入れましたか。

当てはまるすべてを○で囲みます



漁業者から仕入れた	018	1
漁業協同組合から仕入れた		2
その他の仕入先から仕入れた		3

5 貴事業所における製品製造の工程管理内容についてお答えください。

- (1) 7月1日現在、貴事業所ではHACCP手法による工程管理を採用していますか。
当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

採用している	019	1
採用していない		2

HACCP（ハサップ）手法
とは、食品製造における原材料から加工、出荷に至るまでの各段階で「安全性に害を与える要因を分析」し「危害発生の防止の上で重要な管理を行うべきポイント」を監視・記録することで、食品の安全性を確保する衛生管理手法のことをいいます。

- (2) HACCP手法を採用している理由について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

該当するすべてを○で囲みます



製品の高付加価値化	020	1
事故等のリスク削減のため		2
輸出先の基準を満たすため		3

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：